

第117期中間報告書 2022年3月1日 ▶ 2022年8月31日

株式会社 **東京衡機**
証券コード：7719



TECHNOLOGY AND KNOWLEDGE ENRICH SOCIETY



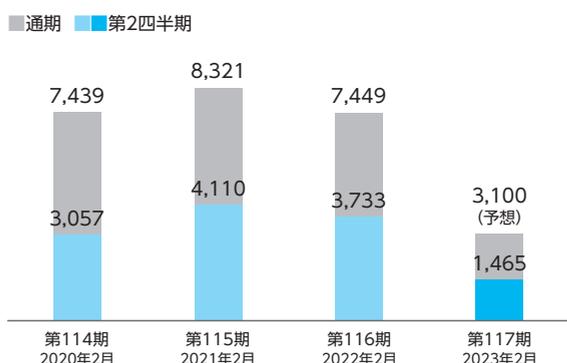
財務ハイライト

決算のポイント

- ✓ 試験機事業は、国内企業の設備投資に回復の兆しが見られ試験機の引合いや受注も増えつつあり、標準的な試験機の売上は堅調に推移したものの、オーダーメイドの試験機は前年度からの受注低迷を主因に売上が落ち込み、メンテナンスサービスの価格競争の激化や仕入コストの増加等により原価率が悪化したことから、売上高・利益ともに伸び悩む
- ✓ エンジニアリング事業は、ゆるみ止めナット・スプリングについて、引き続き高速道路や橋梁、エネルギー関係等の社会インフラ向けや国内建設市場向けに製品の浸透と市場シェアの拡大に努めた結果、都市開発や公共工事関連で使用されるゆるみ止め製品の販売が堅調で、売上高は前年同期を上回る
- ✓ 商事事業は、インバウンド需要を見込んだ量販店向け商品は依然として落ち込んでおり、海外向けの商品は、中国を主とする越境ECの需要は比較的堅調であったものの、オミクロン株による新型コロナウイルスの感染急拡大の影響により商品仕入れに遅れが生じたことなどから取引は計画を下回り、営業利益は前年同期を若干下回る
また、当期から「収益認識に関する会計基準」の適用により商事事業のすべての取引に係る売上を純額表示としたことから、売上高は前年同期に比べ大幅に減少
- ✓ 「新たな柱となる事業の開拓」の一つの取り組みとして、不動産売買の仲介を中心とした不動産事業を開始すべく、新たに子会社として「株式会社東京衡機不動産」を設立し、本年9月から営業を開始

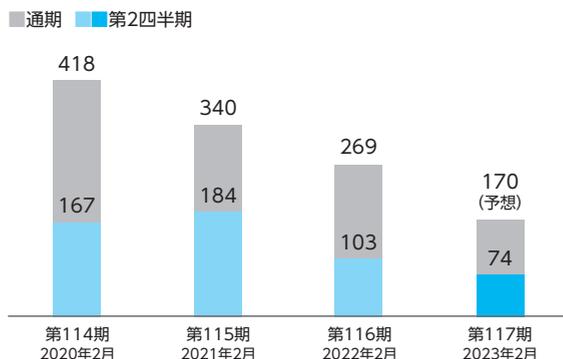
売上高

(百万円)



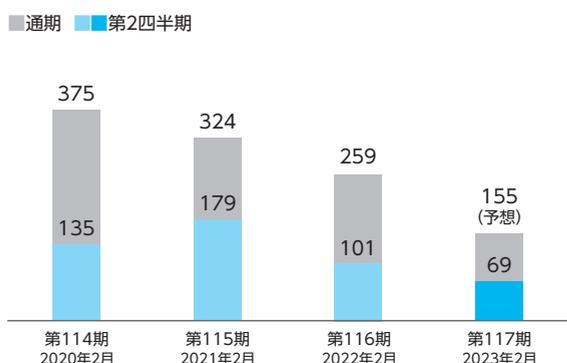
営業利益

(百万円)



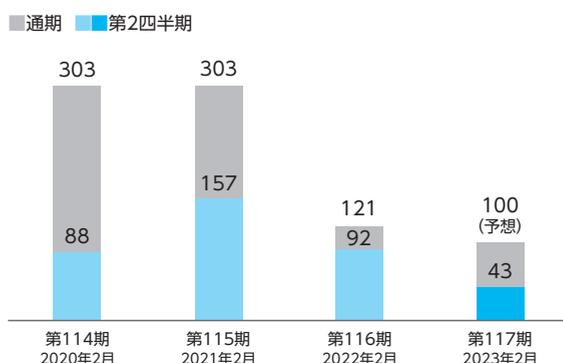
経常利益

(百万円)



親会社株主に帰属する四半期 (当期) 純利益

(百万円)



	第114期 2020年2月		第115期 2021年2月		第116期 2022年2月		第117期 2023年2月	
	第2四半期	通期	第2四半期	通期	第2四半期	通期	第2四半期	通期 (予想)
財務関連データ (百万円)								
売上高	3,057	7,439	4,110	8,321	3,733	7,449	1,465	3,100
営業利益	167	418	184	340	103	269	74	170
経常利益	135	375	179	324	101	259	69	155
親会社株主に帰属する四半期 (当期) 純利益	88	303	157	303	92	121	43	100
総資産	4,281	4,318	4,248	4,468	4,562	4,400	3,800	-
純資産	1,525	1,740	1,896	2,041	2,133	2,139	2,183	-
自己資本四半期 (当期) 純利益率 (ROE) (%)	6.0	19.1	8.7	16.0	4.4	5.8	2.0	-
自己資本比率 (%)	35.6	40.3	44.6	45.7	46.8	48.6	57.5	-
営業活動によるキャッシュ・フロー	152	196	182	207	△123	217	208	-
投資活動によるキャッシュ・フロー	△7	△24	△34	△98	△187	△92	△50	-
財務活動によるキャッシュ・フロー	18	117	81	△129	297	98	△376	-
現金及び現金同等物の四半期末 (期末) 残高	779	906	1,135	886	873	1,110	892	-
1株当たりデータ (円)								
1株当たり四半期 (当期) 純利益	12.44	42.61	22.10	42.52	12.95	17.04	6.13	14.02
1株当たり純資産	213.98	244.06	266.02	286.32	299.19	300.09	306.22	-



代表取締役社長
石塚 智士

企業理念

TECHNOLOGY AND KNOWLEDGE ENRICH SOCIETY
「技術と知識で豊かな社会の実現に貢献する」

技術への挑戦と顧客からの信頼

常にお客様の立場に立ち、“価値ある商品”を提供します。

人間性の尊重

一人ひとりの“能力・意欲・創意を尊重する”とともに、やさしさと温かみのある人間集団を目指します。

地域社会への貢献

日々の誠実な活動を通じ、地域からも“信頼される企業市民”であり続けます。

市場のニーズを捉えながら、新たなチャレンジへ。

Q 2023年2月期上期を振り返り、営業状況をご説明願います。

A 新会計基準の影響等を除くと前年同期と同水準の売上で推移し、黒字基調を維持しました。

新経営体制の発足から半年が経過しました。私たちはこの間、市場ニーズの変化を捉えた製品の開発・投入に努め、前期末までに確立した全事業セグメントの黒字基調を継続しつつ、「強固な財務基盤の確立」と「人材の獲得・育成」に注力してきました。そして、将来に向けて持続的な成長性を確保すべく「新たな柱となる事業の開拓」に着手し、その第一歩となる布石を打ちました。

2023年2月期上期の連結業績は、売上高14億65百万円、営業利益74百万円、経常利益69百万円、親会社株主に帰属する四半期純利益43百万円となりました。当期首より「収益認識に関する会計基準」を適用したため、商事事業の売上計上額が大きく減少したこと、また前期において中国子会社を譲渡し、海外事業から撤退したことにより、前年同期実績との単純比較はできませんが、これらの影響を除いた既存事業の実力としては、新型コロナウイルスの影響を受けながらも概ね前年同期並みの水準を維持したものと捉えています。

営業状況をセグメント別に振り返ると、試験機事業は、市場ニーズに合わせた製品の投入が奏功し、受注が増加しましたが、当上期における売上実績は、前年同期並みとなり、またオーダーメイド製品の原価率悪化を受け、利益が減少しました。

エンジニアリング事業は、ゆるみ止め製品の販売好調により売上が増加したものの、原材料価格の上昇などにより利益は前年同期を若干下回りました。

商事事業は、中国向けを中心とする越境ECの需要拡大を受け、新収益認識会計基準による影響を除いた前年同期比較で

はほぼ同水準となりましたが、利益は若干減少しました。

財務面では、財務基盤の強化に向け引き続き借入金の返済を進めており、自己資本比率は、前期末における48.6%から第2四半期末現在57.5%に改善しております。

Q 新規事業への参入についてお聞かせください。

A 子会社を新設し、不動産売買の仲介事業に参入。ITセキュリティ機器の輸入代行もはじめました。

本年8月、当社が「新たな柱となる事業の開拓」の一環として、不動産事業を行う子会社として(株)東京衡機不動産を新たに設立しました。これは、近年活況を呈している不動産取引市場において新たなビジネスチャンスを獲得するために、先ずは比較的风险の少ない不動産売買の仲介を手掛かりに市場に参入するもので、9月半ばに宅地建物取引業者の免許を取得し、営業を開始しました。日本の不動産市場は外国人投資家からも注目されていますが、当社の商事事業では、中国を中心とする海外向けの商品を取り扱う海外出身の企業家ともお付き合いがありますので、そのようなネットワークも活かして国内不動産物件に関する情報の提供と不動産売買の仲介を行い、事業間のシナジーを発揮していきます。

さらにこの10月には、ITセキュリティ機器の輸入代行業を開始いたしました。本事業は、台湾のITセキュリティ機器メーカーであるLionic Corporation、その総販売元である(株)ビープラスおよび(株)東京衡機不動産の三者で「製品の輸入に関する基本契約書」を締結し、革新的セキュリティ技術を導入したLionic製ITセキュリティ機器の輸入代行を行うものです。

こうした新規事業の積極展開を図るための組織として、本年6月に当社に事業開発部を設置しました。事業開発部は、事業

セグメント別の概況



1923年創業の伝統と高い技術力を誇る試験機事業をはじめとして、画期的なアイデアで社会に安心と安全を提供しているエンジニアリング事業など、技術と知識で豊かな社会の実現に貢献すべく様々な事業を展開しています。

商事事業

■ 事業内容

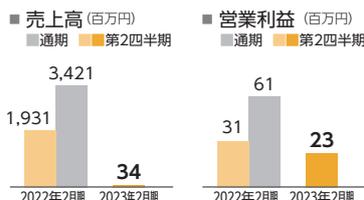
- 海外向けの各種商品の仕入・販売
- 日本国内向けの一般雑貨品等の仕入・輸入・販売

■ ビジョン

アジアを中心とした国際マーケットを視野に入れビジネスの拡大を目指す。

売上高 **34**百万円

営業利益 **23**百万円



試験機事業

■ 事業内容

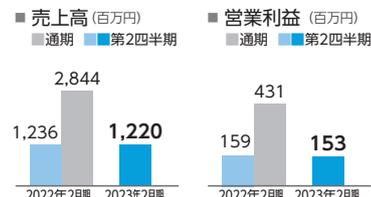
試験機・計測機器の開発・設計・生産およびメンテナンス・校正・受託試験サービス

■ ビジョン

産業・科学の基盤技術を支える信頼感と存在感のある試験機企業を目指す。

売上高 **1,220**百万円

営業利益 **153**百万円



エンジニアリング事業

■ 事業内容

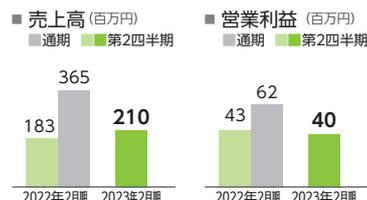
ゆるみ止めナット・スプリングの製造・販売、その他建築資材の販売

■ ビジョン

社会に安全・安心を提供し豊かな社会の実現に貢献する企業を目指す。

売上高 **210**百万円

営業利益 **40**百万円



計画の立案と事業責任者の育成を担い、「新たな柱となる事業の開拓」を促進していきます。これからの当社は、試験機事業を中核としながらも、新規事業による成長の種時きを通じて事業ポートフォリオを転換し、持続的成長につなげていきます。

Q 通期業績の見通しと下期における事業展開をご説明願います。

A 試験機事業とエンジニアリング事業の受注を確実に売上につなげ、商事事業はスピード感を高めていきます。

2023年2月期の通期連結業績については、第1四半期決算の際に公表した業績予想数字を変更せず、連結売上高31億円、営業利益1億70百万円、経常利益1億55百万円、親会社株主に帰属する当期純利益1億円を見込んでいます。

下期における取り組みとして、試験機事業は、受注から納品までの足が長い為、来期以降の売上高拡大に向けて、企業の設備投資意欲の回復傾向を捉えた積極的な営業活動を展開しつつ、手持ちの受注案件をお客様が求める納期に合わせて確実に納品し、期中の売上高を積み上げていく方針です。

一方、エンジニアリング事業は、試験機事業と比較すると受注から納品までの足が短く、タイムリーかつ安定的な製品供給が売上高の拡大につながります。引き続き都市開発や公共工事向けにゆるみ止め製品の販売強化を図り、社会インフラ・建

設市場における認知浸透とシェアアップを目指します。

商事事業は、お客様のニーズの変化が速いため、仕入・販売ともにスピード感を高め、市場の流れに乗り遅れることのないようにビジネスを展開し、業績向上を果たしてまいります。

Q 創業100周年への想いと今後に向けたメッセージをお聞かせください。

A 経営者の使命として、次の世代が創業200周年を迎えるための基盤を築き上げてまいります。

来る2023年3月20日に、当社は創業100周年を迎えます。大正の昔から長きにわたり事業を成長・発展させてきた歴史は、もちろん私たちにとって大きな誇りではありますが、同時にこれを一つの通過点とし、次の100年に向けて世の中に必要とされ、存続するための歩みをしっかり進めていかなくてはならないという想いを強くしています。

これまでの100年を支えていただいたすべてのステークホルダーの皆様への感謝を忘れず、社会価値の創出を通じて会社の成長と雇用を維持し、次の世代が創業200周年を迎えるための基盤を築き上げることが、経営者としての使命であると認識しています。そして、当社事業をご支援いただいている株主の皆様に対しては、企業価値の拡大により報いてまいり所存です。

東京衡機のさらなる飛躍にご期待いただき、未来への挑戦をお見守りくださいますようお願い申し上げます。

「下水道RCセグメント連立試験機」を製作

このたび、当社グループの(株)東京衡機試験機では、建築・土木業界向けに、下水道設備に用いるRCセグメントの強度等を検査するための「下水道RCセグメント連立試験機」を製作し、納品いたしました。RCセグメントとは、道路や地下鉄、上下水道設備、通信施設など巨大な地下のライフライン空間を支える高強度・高精度の構造体で、鉄筋コンクリート製の大きな管の形をしています。完成形は非常に大きなものなので、施工時には分割して作成（セグメント製造）したものをつなぎ合わせて用います。

今回製作した下水道RCセグメント連立試験機は、最大で直径6mまでのものを試験することができます。この試験機は連立型となっていて、日本下水道協会規格（JSWAS）に規定されるジャッキ推力試験を行い供試体の耐力を測定するための「ジャッキ推力試験機」と供試体に荷重を加えて曲げる力に対する強度を測定するための「曲げ試験機」を一つの制御装置で操作することができ、効率的に試験を行うことができます。

この試験機の供試体は、つなぎ合わせる前のRCセグメントのコンクリート部材および鉄筋で、荷重を载荷した際の強度、耐力、応力等を確認・検査するために、右図のようにジャッキ推力試験（圧縮試験）と曲げ試験を行います。

(株)東京衡機試験機では、これからもお客様の多様なニーズにお応えするために、様々な試験機・検査装置を提供してまいります。

試験方法

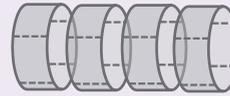
曲げ試験
500kN≒50t



圧縮試験
2000kN≒200t



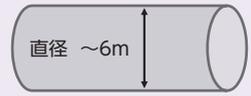
セグメント製造



完成形

鉄筋コンクリート部

直径 ~6m



下水道RCセグメント連立試験機

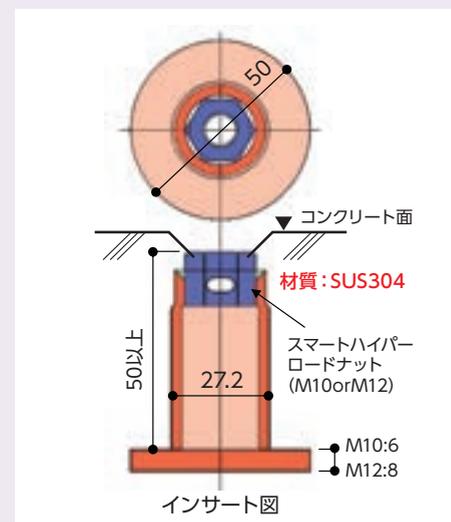
「ゆるみ止め付きインサート」の特許取得

このたび、大成建設(株)様と当社グループ子会社の(株)東京衡機エンジニアリングが共同開発しました「ゆるみ止め付きインサート」につきまして、特許（特許第7107744号）を取得することができました。

本製品は、第113期年次報告書（TKS report vol.25）の特集記事で新製品としてご紹介した製品で、ビル建築において、躯体コンクリートにこの製品を埋設した後にコンクリートを打設することで、コンクリート面にボルトを用いて金物や仕上げ建材を取り付けることが可能となります。

「ゆるみ止め付きインサート」は、2018年の製品開発と同時に特許の申請を行っておりましたが、2022年7月に特許を取得することができました。本製品は、2018年から現在に至るまで、18物件と多くの建築物に使用されておりますが、今回正式に特許を取得したことで今後さらに広く建築市場で使用していただくと考えております。

(株)東京衡機エンジニアリングは、新規開発製品の特許取得を積極的に進めております。ゆるみ止め製品に関する特許は、最初取得したスプリングタイプのゆるみ止め製品を皮切りに、2006年から2022年の16年間で、12件の特許（共同特許を含む）を保有しており、約1年半に1件のペースで特許を取得しております。同社は今後とも当社グループの一員として、技術開発と知的財産権の取得を進め、事業の拡大を図ってまいります。



ゆるみ止め付きインサート 外観

株式情報 (2022年8月31日現在)

株式の概況

発行可能株式総数	26,000,000株
発行済株式の総数*	7,133,791株
株主数	2,845名

※上記の発行済株式の総数には、自己株式2,951株を含みます。

大株主 (上位10名)

株主名	持株数 (百株)	持株比率 (%)
Dream Bridge株式会社	21,401	30.01
石塚 智士	3,800	5.32
株式会社SBI証券	2,680	3.75
山下 秀子	2,344	3.28
佐藤 充弘	1,592	2.23
楽天証券株式会社	1,171	1.64
岡崎 由雄	1,050	1.47
山下 良久	695	0.97
熊谷 正昭	469	0.65
池上 道弘	466	0.65

※持株比率の算定においては、発行済株式より自己株式 (2,951株) を控除しております。

株式の分布状況



■ 事業法人等	22,345百株	31.32%	■ 1単未満	180名	6.33%
■ 個人・その他	42,900百株	60.14%	■ 1単以上	1,569名	55.15%
■ 金融機関	385百株	0.54%	■ 5単以上	344名	12.09%
■ 証券会社	4,938百株	6.92%	■ 10単以上	568名	19.96%
■ 外国法人等	740百株	1.04%	■ 50単以上	96名	3.37%
■ 自己名義株式	29百株	0.04%	■ 100単以上	88名	3.10%
合計	71,337百株	100%	合計	2,845名	100%

株主メモ

事業年度	3月1日から翌年2月末日まで
期末配当金受領株主確定日	2月末日
定時株主総会	毎年5月開催
株主名簿管理人 特別口座の口座管理機関	三菱UFJ信託銀行株式会社
同上連絡先	三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 〒183-0044 東京都府中市日鋼町1番1号 ☎ 0120-232-711 (フリーダイヤル) 郵送先 〒137-8081 新東京郵便局私書箱29号 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部
上場金融商品取引所	東京証券取引所スタンダード市場
公告の方法	電子公告 (掲載URL https://www.tksnet.co.jp/) (ただし、電子公告によることができない事故その他の止むを得ない事由が生じたときは、日本経済新聞に公告いたします。)

(ご注意)

- 株主様の住所変更、単元未満株式買取・増請求その他の各種手続きにつきましては、原則として、口座を開設されている口座管理機関 (証券会社等) で承ることとなっておりますので、口座を開設されている証券会社等にお問い合わせください。
- 特別口座に登録された株式に関する手続きにつきましては、上記特別口座の口座管理機関 (三菱UFJ信託銀行株式会社) にお問い合わせください。同行全国各支店でもお取次ぎいたします。

株式会社 **東京衡機**
TOKYOKOKI CO. LTD.

〒252-0302 神奈川県相模原市南区上鶴間六丁目31番9号
TEL 042-851-6027 FAX 042-851-6028

ホームページのご案内

IR情報や決算情報をはじめ、最新の事業動向をご覧ください。

<https://www.tksnet.co.jp/>



会社概要 (2022年8月31日現在)

商号	株式会社東京衡機
本店所在地	神奈川県相模原市南区上鶴間六丁目31番9号
創立	1923年 (大正12年) 3月20日
資本金	5億円
従業員数	17名 (連結141名)
事業内容	● 東京衡機グループの経営戦略の立案・遂行 ● グループ子会社の統括管理およびサポート ● 商事事業 【グループの主な事業内容】 ● 試験・計測機器および関連機器の製造・販売ならびに修理・メンテナンス、校正、受託試験その他の付帯サービス ● ゆるみ止めナット、ゆるみ止めスプリング、特殊ばね、ボルトその他の締結部材の製造・販売、各種サービス ● 不動産事業

役員等 (2022年8月31日現在)

代表取締役社長	石塚 智士
専務取締役 エンジニアリング事業担当兼商事事業担当	平田 真一郎
常務取締役 試験機事業担当	上野 正男
取締役 管理担当	石見 紀生
取締役 (社外取締役)	小塚 英一郎
取締役 (社外取締役)	池本 正純
取締役 (社外取締役)	前田 收
常勤監査役	鶴見 孝
監査役 (社外監査役、弁護士)	水川 聡
監査役 (社外監査役)	玉虫 俊夫
監査役 (社外監査役、公認会計士・税理士)	瀬山 剛
会計監査人	監査法人アリア

事業拠点

国内子会社

株式会社東京衡機試験機

本店・東京支店……………神奈川県相模原市南区上鶴間六丁目31番9号
相模原工場……………神奈川県相模原市緑区三井315番地
豊橋工場・中部支店……………愛知県豊橋市北島町北島202番地
大阪支店……………大阪府大阪市淀川区西中島五丁目12番8号 新大阪ローズビル7階

株式会社東京衡機試験機サービス

本店……………神奈川県相模原市南区上鶴間六丁目31番9号
本社……………神奈川県相模原市緑区三井315番地
西日本営業所……………大阪府大阪市淀川区西中島七丁目8番17号 花原第五ビル8階

株式会社東京衡機エンジニアリング

本店……………神奈川県相模原市南区上鶴間六丁目31番9号
相模原事業所……………神奈川県相模原市緑区三井315番地

株式会社東京衡機不動産

本店……………神奈川県相模原市南区上鶴間六丁目31番9号



環境保全のため、FSC®認証紙と植物油インキを使用して印刷しています。